



# 小城市立歴史資料館 ✿ 中林梧竹記念館だより

## 小城市内遺跡発掘調査成果展 おぎを掘る16「受け継がれた木製品」 を開催しています

来年は「土生遺跡」が国の史跡に指定されて50年を迎えます。土生遺跡では農具をはじめとする多種多様な木製品が出土しています。それらの木製品の一部は、昨年度市の重要文化財に指定されました。

今回の展示会では指定された木製品をはじめ出土遺物を紹介します。あわせて土生遺跡の発見当初から調査の中心的存在であった故木下巧きのしたたくみさんの業績や先進的な取り組みをご紹介します。

◆期間 ~10月23日(日)

◆場所 歴史資料館  
企画展示室

◆入場料 無料



土生遺跡出土遺物▶

## 小城の歴史講座 「陶印を作ろう」の開催について

明治の書聖中林梧竹は生涯190種以上の印を用いました。現在、中林梧竹記念館では「日本梧竹」の印が押された作品30点を展示しています。

梧竹翁の作品や使用印を鑑賞するとともに実際に印作りを体験する講座を開催します。

◆日時 11月5日(土) 10時~

◆場所 歴史資料館 研修室

◆入場料 200円(大学生以下無料)

◆定員 先着20人程度(要予約)

◆講師 富永将暉とみながまさきさん  
(中林梧竹翁顕彰会)

※道具・材料は文化課で用意します。



## おぎの歴史 ✿ 探検隊

### 小城の“まつり”〈その3〉~晴気天山社と岩蔵天山神社のおくんち~

天山、秀峰と冠するこの山には航海や農耕の神をはじめさまざまな神が鎮座し、麓で暮らす人々に恩恵を与えてきました。これらの神を祀る天山神社は、山頂近くに上宮を中腹に中宮を祀り、下宮は小城市小城町の晴気天山社と岩蔵天山神社、唐津市巖木町の広瀬天山神社の三社に分かれています。

小城市にある下宮では、旧暦9月15日に「おくんち」と呼ばれる秋祭りが行われてきました。その起源は古く、鍋島家の祈願所である市内の両社で戦勝祈願をしたことに始まります。祈願成就してからも、晴気谷や岩蔵谷の住民が藩主の代参として大名行列を模して参拝する注連元行事しめむすぶことが行われていました。

明治中頃以降、注連元行事から浮立を奉納するお祭りに代えられています。晴気地区では10年に1

度、岩蔵地区では6年に1度、浮立の当番がまわって来ます。当番地区は鉦浮立や面浮立、天衝舞など、それぞれの地区に伝わってきたものを奉納し、天下泰平とその年の五穀豊穡を祈ってきました。(終)

小城郷土史研究会/著



▲くんちの様子

◆開館時間 9時~17時

◆休館日 毎週月曜日・祝日

小城市ホームページから 梧竹・歴史資料館・文化財

検索

【問合せ・申込み】 歴史資料館 文化課(桜城館2階) 担当 下川・永田 ☎71・1132